

# 安心して働き暮らせる街づくり



奈良市議員(無所属)

## 松石聖一

(sei3@nike.eonet.ne.jp)

市政報告  
特集号No147  
2022年 春号

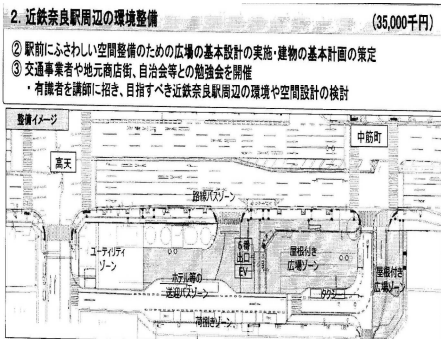
奈良市議会3月定例会が終了しました。

新年度予算では、新型コロナウイルス感染症の影響等がある中で、市税(特に法人)が約16億円増加する一方、新斎苑・こどもセンター完成などで、予算規模は一般会計で1386億円(対前年度0.2%の減)に止まりました。

歳出予算では、小・中学校のトイレ改修など若年世代への予算配分が多い反面、高齢者優遇の新規施策はほとんど無く、世代間のバランスを欠く予算となりました。

## 近鉄奈良駅周辺 県・市連携事業

県の予算では、奈良県・奈良市連携事業として近鉄奈良駅周辺の環境整備の基本計画作成の予算が提案されています。県のホームページには整備イメージ図が公表されていますが、問題の多い計画といわざるを得ません。



(近鉄奈良駅イメージ図 県HPから)

●ホテル送迎バスゾーンや荷さばきスペースが大きく確保されている反面、

●駐輪場、公衆トイレ、タクシー・バスの待機スペースが全くなくなっていることです。そこで3月市議会で、

「なぜ唐突に計画が公表されるのか、奈良市側の意見はどうなっているのか」と質問したところ、

①イメージ図は発表前日、市に届けられた。

②奈良市副市長もこの計画を知らされていなかったことが明らかになりました。

今後、利用者目線の計画となるよう、対策を求めます。

一昨年以來、委員会や本会議で対策を求めてきた

## 危険バス停の改良が完了しました

横断歩道が近く、バス乗降時に車体が歩道にかかるなど、危険バス停とされている場所が、奈良市道関係で4カ所残されていました。

今回最後まで残されていた、学園前駅北の鶴舞1丁目バス停について、右写真の通り改良が実現し、朝夕のラッシュ時にも安全に乗降できるようになりました。

地元からの要望で花壇も撤去され、スペースも、以前の倍となり、バスが同時に2両停止、乗降できるようになりました。



(鶴舞町1丁目バス停)

## やすらぎの道地下道5月完成(予定)



普段は囲いに覆われている工事現場の「見える化」を提案し、周辺の住民には随時見学会を実施してきました。

工法が地下方式に変わって10年以上、完成後は近鉄奈良駅～(仮称) JR大安寺新駅への連絡道路として計画されており、**済美・済美南地域の活性化**に大きく寄与するものと期待されています。

また開通前には、最後の地元見学会を予定しています。

## やっと動き出した 道の駅針テラス

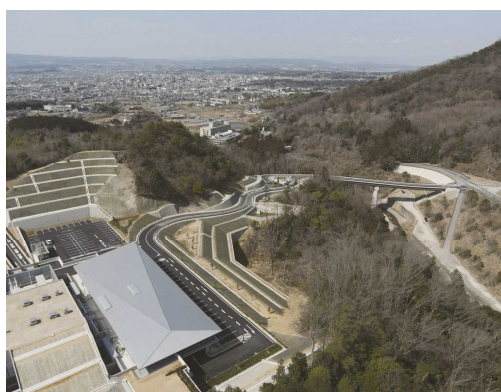
「負の遺産」として、奈良市に引き継がれた道の駅針テラスについて、今日まで運営会社の変更を求めるなど、議会で厳しく指摘してきました。

去る12月議会でも、一部裁判後を見据えて、計画を早く立案するよう求めたところ、新年度では、**民間活力導入可能性調査業務**など3000万円の予算が付き、再整備に向けて一歩を踏みだしました。

奈良市の東の玄関口として、周辺の土地利用計画も含め、地域の発展が期待されています。



(名阪国道旧都祁村の道の駅 針テラス)



## 西側山林に「市民の杜」公園設置を

新斎苑が完成し、4月1日から稼働しています。

これまで、「無用の土地取得」などと揶揄されてきた、斎苑西側の山林が当初の予定通り、周辺との緩衝地帯としての役目を果たしています。

これまで、「市民の杜」公園構想を議会で提案し、私案を公表して来ました。(H30 6月)すでに、西側山林の有効活用のための進入路も計画されています。

令和3年度では、市の調査による活用計画が作成され、近々、公表される見通しですが、市民からは「奈良市のシンボルである八重桜の杜、こどもの森などにしてはどうか」など、私の所にも提案が寄せられています。新年度でも調査費が認められ、今後の有効活用が期待されています。(写真 奈良市提供)

## ウクライナ支援 (奈良市議会)

連日報道されているロシアによるウクライナ侵攻。民間人の犠牲も多く報道されています。奈良市議会では現地に義援金を贈ることを決め、全員が拠出、ウクライナ大使館に届けられました。ロシア軍による暴挙は許せません。

生きとし生けるものが幸せであるため「平和」は絶対の条件です。

武力による紛争の解決には、断固反対します。

あなたの声を

お聞かせ下さい

奈良市議員

**松石 聖一**

〒630-8131 奈良市大森町283  
Tel: 0742(22)5354  
sei3@nike.eonet.ne.jp